

国交正常化45周年 中国特集

博愛の精神が宿る中国江蘇省



クルーズを楽しめる蘇州市内の運河（山塘歴史文化街区）



拙政園

蘇州は上海から西へおよそ90キロにある江蘇省第1の都市。人口およそ1千万人。中国で川と橋が最も多い都市とされ、古くから「東の水の都」「東洋のベニス」と呼ばれてきた。

蘇州は上海から西へおよそ90キロにある江蘇省第1の都市。人口およそ1千万人。中国で川と橋が最も多い都市とされ、古くから「東の水の都」「東洋のベニス」と呼ばれてきた。

蘇州

東洋のベニス、九つの古典庭園

無錫

太湖を抱く水郷の町 ヒット曲の舞台に



太湖



清名橋と運河

四大古都「南京」「蘇州」「水の都」「無錫」

南京

南京は江蘇省の省都で、人口およそ800万人と蘇州、徐州に次ぐ同省第3の都市。上海から約300キロ、高鉄で使えばおよそ2時間半で着く。日本からは東京、大阪、福岡、静岡、沖縄との間に直行便が運航している。



市内には「博愛主義」を唱えた近代民主主義の祖孫文（孫中山）をまつる中山陵をはじめ、多くの歴史

今年2017年は日本と中国の国交正常化45周年。両国で多くの記念事業が予定されている。さらに中国では日本人観光客のさらなる誘致に向けて、省ごとのPR事業も盛んだ。国交正常化45周年中国特集。今回、「南京」「蘇州」「無錫」の有名観光地を抱える江蘇省にスポットを当てた。

的遺産がある。

●中山陵

孫文をまつる。孫文が没した1925年に着工

し、1929年に完成した。392段の階段の上、孫文が眠る石の棺を安置する祭壇がある。383の数字を構成する一つ

の初期皇帝、朱元璋とその皇后をまつる陵墓。2003年、「明・清王朝の皇帝墓群」を構成する一つ

の明孝陵（参道）



明孝陵（参道）

孫文の遺訓が残る博愛の町 「大報恩寺」「牛首山」に注目

として世界文化遺産に登録された。

陵墓に向かう参道の左右には、12対の動物の石像、4対の文官・武官の石像が並んでいる。これら石像も明代の貴重なものという。

●夫子廟

南京の下町にあり、廟の

一帯も夫子廟と呼ばれる昔ながらの繁華街となっている。毎年旧正月に行われる

ちようちんまつりには一日で5万人あまりが訪れる。

●大報恩寺遺跡公園

近年、市の観光局が推している観光スポットが大報恩寺遺跡公園と牛首山だ。

●牛首山

牛首山は仏教の名山で、毎年旧暦の1月15日の元宵

節から4月8日の浴仏節まで、さまざまな民俗行事が行われている。

●大報恩寺遺跡公園

2007年から開始された再建事業と考古発掘を通じて、2008年に宋代の財

宝や文物が大量に見つかり、中でも注目を集めたのが二重の鉄箱に入っていた

表面に「公真真書」などの文字があった宝珠には仏

舍利（釈迦の遺骨）が納められて、さまざまな民俗行事が行われている。

●夫子廟

南京の下町にあり、廟の一帯も夫子廟と呼ばれる昔ながらの繁華街となっている。毎年旧正月に行われる

ちようちんまつりには一日で5万人あまりが訪れる。

●大報恩寺遺跡公園

近年、市の観光局が推している観光スポットが大報恩寺遺跡公園と牛首山だ。

●牛首山

牛首山は仏教の名山で、毎年旧暦の1月15日の元宵

節から4月8日の浴仏節まで、さまざまな民俗行事が行われている。

●大報恩寺遺跡公園

2007年から開始された再建事業と考古発掘を通じて、2008年に宋代の財

宝や文物が大量に見つかり、中でも注目を集めたのが二重の鉄箱に入っていた

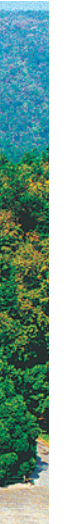
表面に「公真真書」などの文字があった宝珠には仏

舍利（釈迦の遺骨）が納められて、さまざまな民俗行事が行われている。

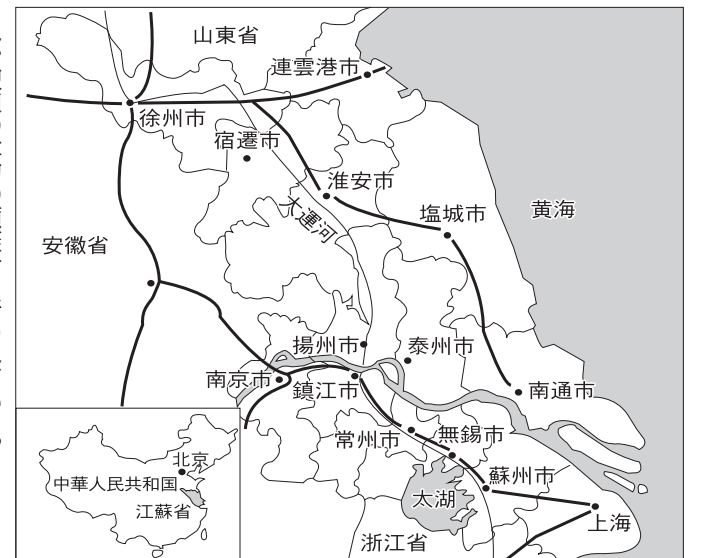
●夫子廟

南京の下町にあり、廟の一帯も夫子廟と呼ばれる昔ながらの繁華街となっている。毎年旧正月に行われる

ちようちんまつりには一日で5万人あまりが訪れる。



中山陵



牛首山



大報恩寺遺跡公園